

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 多機能型事業所スマイスセレソンサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	遊ぶスペース、支援スペースを分けている。	高学年になると狭く感じるかもしれないので、子どもたちが活動しやすい環境づくりをしていく。
	2	職員の配置数は適切である	8	3	活動内容に分けて職員を配置している。	しっかりと支援できるように配置していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	10		身体障がい者の受け入れは現在行っていない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	2	業務改善できるように努めていく。	より良い業務が出来るようにPDCAを取り入れていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		満足していただけるよう業務改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10		ホームページに公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		引き続き評価結果による業務改善を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	毎月研修を開催している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	利用児の様子を共有し、必要な支援を行っている。	しっかりと分析を行い、支援計画作成に取り組んでいく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1		みんなが分かりやすいアセスメントツールを作り、状況を把握していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10		どのようにしたら楽しみながら過ごせるかを話し合うことが出来ています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10		情報収集を行い、話し合っ固定化しないようにしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	活動の時間に合わせて、課題を設定している。長期休暇には普段できない内容を取り入れるようにしています。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	10		集団活動は月で計画をしているが、成長過程を考慮して作成しています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10		毎朝打ち合わせをしています。 午後からの職員に対しては、出勤後に共有をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10		フィードバックをしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10		記録する内容、記録の仕方を常に見直すことが出来ている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			モニタリング時期をしっかりと確認していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	2	ガイドラインに沿った支援を行っている。		
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	支援に携わっている職員が参加している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	1	送迎時に情報共有をしている。	引き続き、しっかりと情報共有等を行っていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		10	医療的ケアが必要なお子様がない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2	隣接している園とは出来ている。	放課後等デイサービスの利用が決まった時は、会議の時に参加をお願いし、積極的に情報共有等行っていきます。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		10	今までで移行となった例がない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3		今後も積極的に連携し、研修等受けていきたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	2	隣接している学童との交流を活動の中に取り入れている。	
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	4		機会があれば参加していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	1	送迎時等で様子を伝え、共通理解をもつようにつとめています。	面談の機会も設けていきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2	寄り添いながら支援していきます。	職員も研修を受け、どの方法が良いか、保護者の方と一緒に探していきます。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10		契約時に説明しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	気になる子に関しては、こちらから声を掛けるようにしている。	面談の希望も伺いながら、行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	8		アンケートに基づき、開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			要望があれば対応しているが、迅速かつ適切になれるように努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10		毎月活動予定を配信している。	
	35	個人情報に十分注意している	10			個人情報がでないように気を付けている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		普段会えない保護者には、LINEやアプリ、電話等を通して伝えていきます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	8		今後開催するときは、招待をしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10		マニュアルを策定しており、共有することが出来ている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		定期的な訓練を取り入れている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10		定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	2		引き続き保護者の方にも文章等でお伝えしていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10			該当者がいるときは指示書に基づいて対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		職員間で共有し、再発防止するよう努めています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年 3月 10日

事業所名スマイスサポート大手町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		指導訓練室を区分けし、個室のスペースを設けている	小集団での生活空間を提供しており、個人の特性に応じたスペースを管理しています。安全面に配慮し、快適な療育を進められる計画を立てています
	2	職員の配置数は適切である	6		施設基準に沿って利用人数に合わせた職員配置をしています	今後も施設基準に沿って、運営して参ります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	十分な動線を確保し、物を置かないようにしている	引き続き十分なスペースを作り、安全面に配慮します
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		定期的な会議に付け加え、随時個別な会議を行う事で、支援の方向性を調整できている	今後も臨機応変な対応で、随時職員会議を開催し、支援内容の充実に邁進します
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		保護者さんと連絡を密に行い、改善ができています	個別に改善や要望の聞き取りを行います
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2		今年度より公表
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		第三者による外部評価については未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	研修への参加、意見交換ができています	時間調整を行い、研修への参加を促していきます。職員への周知を行います
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		半年の経過を待たず、随時見直しをしている	定期的及び、随時アセスメントを行い計画に反映させています
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		半年に一度見直しや改善を行っている	今後も定期的にあセスメントを行い、計画に反映させていきます
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		保育士と児童指導員が立案と実施を施行している	月案を立て、季節に応じた作製物や活動を行っています
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		ご利用児に合わせた療育内容を工夫し、個別な道具を作製している	個別に関心のある活動を企画し、手作りでも療育道具も作製しています。支援の充実の為、工夫しています
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		長期期間ならではの活動がある	休日や長期休みなど、日頃できない活動プログラムをたっています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	6		個別の内容が充実している	個人に合わせた関心に寄り添い、小人数と集団での活動を構造化している

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		当番を決め、会議の進行をしている	利用人数、送迎時間など適宜確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		振り返りを行い、支援の充実ができています	改善点を中心に振り返りを行い、支援時間の充実を図っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		日々の活動をデジタルにて記録できている。	デジタル・書記両面で記録をとり、改善に努めている
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		定期的実施している	今後も継続して取り組みます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6		活動プログラムの立案と実施を行っている	今後も継続して取り組みます
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		有識者の参加により、勉強できている	個別に応じた有識者の参加を実施している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		送迎時間、年間行事等把握している	関係機関と連携し情報の把握に努めています。連絡調整を適切に行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2		保護者さんを介して医療機関との連携を行っています。支援計画など共有可能な資料の取り寄せを行っています
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		情報共有ができています	支援内容や既往について関係機関を連携している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		今年度該当者なし。今後の為の情報収集は引き続き行っていきます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		研修できている	今後も研修の時間を作り、支援内容に反映させていきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		法人内での交流がある	課外活動を通して法人内の児童と交流の機会を設けていきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6		HP等を参考に会議内容の伝達を行っています
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		ハグにて写真や文字で伝える事ができている	引き続き詳細な活動内容の共有を行っています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		保護者さんの困りに寄り添い解決の案を出している	随時、様子を窺い、困りごとの解決に努めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用に関する書類については、契約時丁寧な説明ができています	不明な点があればその都度丁寧に対応していきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		通所や療育について丁寧に対応している	メールや電話、面談にてご家族の困りや児童の成長を共有しています。支援内容について助言を行っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		保護者さんの需要に合わせた機会の開催を検討しています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速に対応できている	今後も関係機関と情報共有を行い、迅速に対応して参ります
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		月案の配布を行っている	活動予定を可視化し、配布することで行事などのイベントの周知を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	6		個人情報同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に対して同意を得ている	今後も個人情報の取り扱いに注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		言葉遣いや表現方法に気を配っている	個人の特性に合わせた情報伝達の方法で情報を共有しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	ハロウィーンなど時期限定のイベントを開催している	地域連携にも力をいれていきます
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		感染症予防や防災の連絡網を作っている	定期的な訓練を行い、防災や感染症対策に努めます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		職員の訓練ができています	引き続き定期的な訓練を実施します
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		研修に参加している	虐待防止チェックシートを使い、定期的な研修を行います
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		計画に明記し、保護者さんへ説明している	身体拘束の3原則を確認していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6		今年度の該当者なし。適宜需要に応じて対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		当日のうちに記入している	職員で情報を共有し、事故防止に努めています

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3 月 1 日

事業所名 多機能型事業所スマイスレソソサポート三佐

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	6		部屋を分けたり静と動の空間の区別がとれている	小集団での生活空間を提供しており、利用者の配置も人数や特性に応じて配置していきます 活動や移動、休憩の際には安全面に配慮してスペースの確保に努めます
	2	職員の配置数は適切である	5	1	施設基準に沿って、利用人数に合わせた職員の配置を行っている	今後も施設基準に沿って、専門職や適切な職員配置をしていきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		階段には手すりを設置し、通路は歩行スペースを確保し、物を置かないようにしている	生活の場として歩行スペースの確保に努め環境整備を行っていきます
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		定期的に個別会議を行い振り返りをしている 参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達している	法人の支援方針に沿った目標を立て、遊び込み療法に基づいた支援を共有していきます。今後も議事録で確認する等職員間での情報共有を行っていきます
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		日頃からコミュニケーションをとることやアセスメントシートから保護者からの意向を把握し、支援や業務改善へつなげている	保護者からの意見には真摯に耳を傾け、業務改善につなげていきます
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			今年度分より公表 今後、支援内容の評価及び公表を行っていく	職員へ周知した上で支援の質の向上に努めていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		第三者による外部評価については未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	研修については可能な限りオンライン研修に参加、報告、意見交換している	全職員が研修参加は難しいため、研修会の実施内容の確認や意見交換を行う時間の確保に努め実施していきます
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		保護者の意向やアセスメントシートを用いて個別支援計画を作成している	今後も定期的にあセスメントを行い、個別支援計画作成につなげます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		半年に1度評価を行い、見直しや改善している	今後も定期的にあセスメントを行い、特性や状態把握に努めます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		保育士と作業療法士が 関わりながら活動プロ グラムの立案と実施を 行っている	今後も週や月ごとに計画を立て、季節に合わせた制作活 動や興味関心を取り入れた専門教室の活用を継続して取 り組んでいきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		利用者の発達や特性に 合わせたプログラムを 作成、スポーツなどの 運動の他、新しい活動 や季節の行事なども取 り入れている	利用者の興味や関心を取り入れた活動を提供、職員同士 で話し合う機会をもち、試してみたりして活動内容の見 直しや発達支援の質の向上を目指していきます 本人や保護者のニーズを取り入れ、活動の中で身体や手 足を使う内容を取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を きめ細やかに設定して支援している	6		サービス提供時間に 応じたプログラムを 作成して支援を行っ ています 休日については行っ ていない	学業日と休業日の時間や場所の確保や構造化を図ります 職員間で共有し特性や興味・関心に合わせて、活動に取 り入れています
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせて放課後等デイ サービス計画を作成している	6		個々の課題に合わせて 個別活動や小集団での プログラムを作成して いる	特性や興味・関心に合わせ、個別での活動や小集団での プログラムを作成し、構造化を図ります 移動や送迎の際は安全面に配慮して個別に対応します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割分 担について確認している	6		支援前に役割分担や支 援内容の確認を行っ ている	参加できなかった職員には議事録で確認し、日々の支援 内容の情報を共有していきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	6		終業時に情報共有を行 い、その日の課題や改 善すべき点をHUGの 業務日報で共有し話し 合っている	伝達事項や気づいた点についてはその都度共有を図っ ています 参加できなかった職員には議事録や活動記録を確認し、 日々の支援内容の情報を共有していきます
	17	日々の支援に関して正しく記録をとるこ とを徹底し、支援の検証・改善につなげ ている	6		日々の活動や相談記録 をHUG上や個人ファ イルで管理し、情報共 有できる体制をとって	サービス提供後には記録時間や情報を共有できる時間を 確保していきます
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断している	6		定期的に6か月に1回 は実施している	今後も継続して取り組みます
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っている	6		児童発達支援管理責任 者が統括する中で、保 育士、児童指導員、作 業療法士の職員が関 わりながら活動プロ グラムの立案と実施にあ たったの準備を行っ ている	今後も継続して取り組みます	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6		担当者会議の日程に合 わせ児童発達支援管理 責任者が参加するよ うにしている	可能な限り、関係機関の事業所が同席し情報の共有がで きるようにしていきます	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	6		週間、月間ごとに各学 校のHPを参考に下校 時刻の確認を行っ ている 保護者の方にもご協力 をお願いしている	今後も連絡調整がスムーズにできるよう関係機関、保護 者の方と連携をとっていきます	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	事前に情報提供書や保護者を通じて情報を共有するなどして受け入れを判断している	保護者を通じて情報を共有するなど、相談支援事業所等も連携を図りながら連絡体制を整えていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	児童発達支援事業所と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行っている	今後も計画的に継続して取り組みます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	該当者なし 今後移行の際は、各関係機関と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行う予定	今後も計画的に継続して取り組みます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		積極的に研修会やオンライン研修などの参加を行いたい	研修内容について資料など回覧して職員へ情報共有していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		長期期間中スポーツ学童との交流はある	法人内の児童発達支援やスポーツ学童など年齢の近い子供と交流する機会を増やしていきます
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		6	事業所内の職員が協議会には参加していない	HP等を参考に会議内容等情報の伝達を行っています
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		日々の送り迎えの際やHUGでの連絡帳、写真を通して利用者の状況を伝えている	状況を伝えることはできているが、今後は学校や訓練の様子など課題について保護者と共有していきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	保護者に対してペアレント・トレーニングを行う機会はない	ペアレント・トレーニングは実施していないが、ケース会議等の際に保護者へ助言、指導をしている児童発達支援協議会の参加や勉強会等で知識のや対応力の向上に努めます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		利用に関する書類については契約時に運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っている	利用開始時や内容の変更があれば不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応をしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		保護者からの子育ての悩み相談については日頃から真摯に対応している	相談内容によっては適切な助言ができない場合は、相談員の介入もしていきながら事業所として適切な回答を模索した上で助言していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	保護者同士で話しができる機会は少ない	保護者ニーズに合わせながら話しができる機会が作れるよう検討していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっている	今後も相談・苦情内容に応じて迅速かつ適切な対応に努めます 相談支援事業所等との情報共有も行っていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		会報はないが毎月の予定や行事、活動風景の写真をSNSやHUGに掲載している	今後も定期的にSNSやHUGに掲載していきます 写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	35	個人情報に十分注意している	6		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関しても同意を得ている	今後も写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとりま す 個人情報が記載されている文書の廃棄についてはシュレッターを使うなど、個人情報の漏洩や取り扱いには注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしている	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないよう一貫した支援を行います
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5	今年度は未実施	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		職員間では周知できているが、全てのマニュアルを家族に周知することはできていない	緊急時や感染症対策等については利用契約時や連絡帳にて、対応マニュアルの提示や訓練結果の報告を通知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		毎月地震や火災を想定した避難訓練を実施している	今後も非常災害計画に基づき、毎日避難経路の整備や確認を行ないます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止に関する研修会には必ず参加している 参加できない場合や資料を参考に再確認するようにしている	今後も積極的な研修会への参加を行います 「虐待防止チェックシート」表を用いて定期的に行い、改善を図ります
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		必要性が低く身体拘束は行っていない	現在、身体拘束の必要性がないが、虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を今一度全職員で確認します
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		契約時に確認している 提供時にはダブルチェックをして観察している	利用開始前に食物アレルギーについて確認します 原因物質がある場合は、確認を行い提供します
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		毎日のミーティングで共有している 資料や報告書で共有している	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、事故を未然に防げるよう努力していきます	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 3 月 1 日

事業所名 多機能型事業所スマイスセレソサポート別府

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	8		個室がないため安定している時は良いが情緒が乱れている児がいる時は個室の必要性を感じています	小集団での生活空間を提供しており、利用者の配置も人数や特性に応じて配置していきます 活動や移動、休憩の際には安全面に配慮してスペースの確保に努めます
	2	職員の配置数は適切である	5	3	施設基準に沿って、利用人数に合わせた職員の配置を行っています	今後も施設基準に沿って、専門職や適切な職員配置をしていきますがトイレが離れていたり、ピッチに職員を配置すると曜日によっては人員不足が起こっています 今後検討し対応していきます
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		8	階段には手すりを設置し、通路は歩行スペースを確保し、物を置かないようにしています	生活の場として歩行スペースの確保に努め環境整備を行っていきます
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		定期的に個別会議を行い振り返りを行っています 参加できない職員には議事録を確認するなど周知や業務改善へ全職員に伝達しています	今後も職員の周知を図るため定期的な会議と振り返りを行っていきます。 ミーティングへの参加が難しい場合には、議事録で確認する等職員間での情報共有を行います
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		日頃からコミュニケーションをとることやアセスメントシートから保護者からの意向を把握し、支援や業務改善へつなげています	今後も職員の周知を図るため定期的な会議と振り返りを行っていきます。 ミーティングへの参加が難しい場合には、議事録で確認する等職員間での情報共有を行います
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		8	今年度分より公表 今後、支援内容の評価及び公表を行っていく	職員へ周知した上で支援の質の向上に努めていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		8		第三者による外部評価については未実施
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	研修については可能な限りオンライン研修に参加、報告、意見交換しています	全職員が研修参加は難しいため、研修会の実施内容の確認や意見交換を行う時間の確保に努め実施していきます
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		保護者の意向やアセスメントシートを用いて個別支援計画を作成しています	今後も定期的にあセスメントを行い、個別支援計画作成につなげます
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8		半年に1度評価を行い、見直しや改善しています	今後も定期的にあセスメントを行い、特性や状態把握に努めます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
な 支 援 の 提 供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		全職員で意見を出し合い月案を作成しています	今後も週や月ごとに計画を立て、季節に合わせた制作活動や興味関心を取り入れた専門教室の活用を継続して取り組んでいきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		活動がマンネリ化しないように毎日活動を変えています また、静の活動の次日は動の活動を入れるなど考えながら個別・集団活動を行っています	利用者の興味や関心を取り入れた活動を提供、職員同士で話し合う機会をもち、試してみたりして活動内容の見直しや発達支援の質の向上を目指していきます 本人や保護者のニーズを取り入れ、活動の中で身体や手足を使う内容を取り入れている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8		サービス提供時間に応じたプログラムを作成して支援を行っています	学業日と休業日の時間や場所の確保や構造化を図ります 職員間で共有し特性や興味・関心に合わせて、活動に取り入れていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		個々の課題に合わせて個別活動や小集団でのプログラムを作成しています	特性や興味・関心に合わせ、個別での活動や小集団でのプログラムを作成し、構造化を図ります 移動や送迎の際は安全面に配慮して個別に対応します
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		支援前に役割分担や支援内容の確認を行っています	参加できなかった職員には議事録で確認し、日々の支援内容の情報を共有していきます
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	当日の予定や役割分担、支援内容の確認を行える職員と特活や巡回の職員は確認ができていない状況です	参加が難しい職員には日報、口頭、議事録で確認し、日々の支援内容の情報を共有を行っています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日々の活動や相談記録をHUG上や個人ファイルで管理し、情報共有できる体制をとって	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		定期的に6か月に1回は実施している	今後も継続して取り組みます
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8		児童発達支援管理責任者が統括する中で、保育士、児童指導員の職員が関わりながら活動プログラムの立案と実施にあたっての準備を行っている	今後も継続して取り組みます
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		担当者会議の日程に合わせて児童発達支援管理責任者が参加するようにしている	可能な限り、関係機関の事業所が同席し情報の共有ができるようにしていきます
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8		週間、月間ごとに各学校のHPを参考に下校時間の確認を行っています 保護者の方にもご協力をお願いしています	今後も連絡調整がスムーズにできるよう関係機関、保護者の方と連携をとっていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、医療ケアが必要な児はありませんが、その際は保護者を通じて情報を共有するなど、相談支援事業所等も連携を図りながら連絡体制を整えていきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		児童発達支援事業所と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行っています	今後も計画的に継続して取り組みます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当者なし 今後移行の際は、各関係機関と情報交換を行い、スムーズに移行できるように情報伝達を行う予定です	今後も計画的に継続して取り組みます
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		機会があれば研修会やオンライン研修などの参加を行いたいです	研修内容について資料など閲覧して職員へ情報共有していきます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		8		法人内の児童発達支援やスポーツ学童など年齢の近い子供と交流する機会を検討していきます
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		8	事業所内の職員が協議会には参加していません	HP等を参考に会議内容等情報の伝達を行っていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々の送り迎えの際やハグでの連絡帳、写真を通して利用者の状況を伝えています」	状況を伝えることはできているが、今後は学校や訓練の様子など課題について保護者と共有していきます
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		8	保護者に対してペアレント・トレーニングを行う機会はありません	ペアレント・トレーニングは実施していないが、ケース会議等の際に保護者へ助言、指導をしている児童発達支援協議会の参加や勉強会等で知識のや対応力の向上に努めます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		利用に関する書類については契約時に運営規定、支援の指針と具体的な内容、利用者負担額や利用方法、パンフレットを用いて具体的な説明を丁寧に行っています	利用開始時や内容の変更があれば不明な点があればその都度、説明をして丁寧な対応をしています
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		保護者からの子育ての悩み相談については日頃から真摯に対応しています	今後も保護者目線を忘れず真摯に向き合い言葉を選びながら対応していきます
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	保護者同士で話しができる機会は提供できていません	保護者ニーズに合わせながら話しができる機会が作れるよう検討していきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		迅速かつ適切を旨として苦情対応にあたっています	今後も相談・苦情内容に応じて迅速かつ適切な対応に努めます 相談支援事業所等との情報共有も行っていきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		会報はないが毎月の予定や行事、活動風景の写真をSNSやHUGに掲載しています	今後も定期的にSNSやHUGに掲載していきます 写真等個人情報の取り扱いには十分留意して掲載、配布を行います
	35	個人情報に十分注意している	8		利用契約時に個人情報使用同意書の説明を行い、写真の掲示や使用に関して同意を得ています	今後も写真の掲載の際は事前に同意を得て確認をとりま す 個人情報が記載されている文書の廃棄についてはシュレッターを使うなど、個人情報の漏洩や取り扱いには注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		障がいや特性に合わせ、配布物による視覚支援を取り入れるなど配慮をしています	障がいや特性によって配慮を行うが利用者や保護者対応に不公平が生じないよう一貫した支援を行います 電話やラインも活用し、お伝えしたことが残るようにしていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		8	今年度は未実施	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8		職員間では周知できているが、全てのマニュアルを家族に周知することはできていません	緊急時や感染症対策等については利用契約時や連絡帳にて、対応マニュアルの提示や訓練結果の報告を通知していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		定期的に地震や火災を想定した避難訓練を実施している	今後も非常災害計画に基づき、毎日避難経路の整備や確認を行ないます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止に関する研修会には必ず参加しています 参加できない場合や資料を参考に再確認するようにしています	今後も積極的な研修会への参加を行います 「虐待防止チェックシート」表を用いて定期的に行い、改善を図ります
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8		トキワの8階にあり、駐車場は非常に通りが多いため児童発達支援計画に場合に応じて身体拘束を行う可能性があることの同意は得て	虐待防止上必要とされる身体拘束の3原則を計画の説明時に丁寧に説明し確認していきます
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約時に確認している 提供時にはダブルチェックをして観察しています	利用開始前に食物アレルギーについて確認します 原因物質がある場合は、確認を行い提供します
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		毎日のミーティングや連絡帳で共有しています 資料や報告書で共有している	ヒヤリハットは事業所内または法人内でも情報を共有し、事故を未然に防げるよう努力していきます	